

1 はじめに

本校では、「輝け！笑顔 『強く、正しく、美しく』 歩む仲町っ子～見つけよう！自分の、友達の、いいところ～」を教育目標に掲げ、特色のある教育活動の充実・展開を図っている。その中で、生活科では、「身近な人・社会・自然に働きかけ、生き生きと活動できる子を育てるための指導の在り方」を研究している。

今回は、2年生の「わたしの町はっけん」の活動事例について紹介する。児童が地域や自然や施設、人々との関わりの中から自分の町のすばらしさに気付き、親しみや愛着を深められるように、主体的に活動することに力を入れて実践を行った。

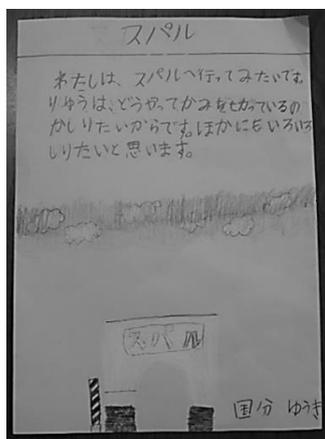
2 実践の内容

(1) 第1次 たくさんあるよ 町の大きさ

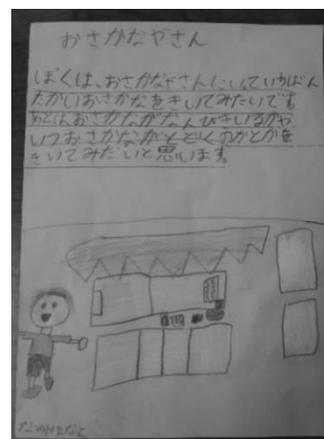
導入では、互いに自分が好きな町の人や行ってみたい場所をカードに記入し、紹介し合う活動を行った。その際に、春の活動の様子を撮った写真や絵地図を活用することで、具体的に想起しやすい環境をつくった。また、自分が思いもしなかったことに対して、友達に興味もったことに驚いたり、共感したりすることで、もう一度行ってみたいという行動意欲を高めた。



(学校から家までの絵地図)



(紹介カード)



(2) 第2次 みんなでたしかめに行きたいね

行ってみたい場所毎にグループを決め、町探険に出かける計画を立てる活動を行った。紹介カードを元にして、聞きたいこと、通る道、役割、探険のめあてや約束などを話合った。それぞれのグループで約束を学級全体で共有し、交通安全のルールや人にかかわるマナー、お店の中での約束を確認することで、安全に充実した活動ができるようにするとともに、日常生活における実践力を高められるようにした。

(3) 第3次 町たんけんにしゅっぱつ!

様々な視点から発見をするために、目だけではなく耳で音を聞いたり、鼻で匂いを嗅いだり、手でたくさん触って「町たんけん」の活動を行い、気づきを広げるようにした。子どもたちは、実際に寺で木魚を鳴らしたり、鮮魚店で魚をもたせてもらったり、多くの体験をして、目を輝かせていた。また、施設の様子や、そこで働く人々の様子を、積極的に見学し、探検ワークシートにメモをしている姿が見られた。



(木魚を鳴らしている様子)



(魚をもっている様子)



(入浴装置に座っている様子)

(4) 第4次 はっけんしたよ すてきなこと

授業参観で発表会を開いた。同じ訪問先でも、グループによって、視点の違いやまとめ方の違いによって新しい発見をすることができた。また、保護者の方にも参加して頂くクイズコーナーを設けたり、グループの良いところを見つける時間を確保したりすることで楽しみながら発表会を行うことができた。



(ポスターによる発表)



(ペープサートによる発表)



3 成果と課題

<成果>

- ・児童にとって身近である施設を見学したことにより、改めて自分の住む町への興味を深めることができた。
- ・実際に働く人々を見たり、話を聞いたりすることで、多くの人々によって自分たちの生活が支えられていることに気付くことができた。

<課題>

- ・発表の方法がポスターとペープサートに偏ってしまったため、伝えたいことや内容によって、適した発表方法に気付ける声かけが必要である。